

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 企業理念

インフラストラクチャー創造企業として、最高品質のものづくりを通じて社会基盤の充実と発展に幅広く貢献していく。

売上高経常利益率  
5%

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 収益力の徹底強化

利益を稼ぎ出す力を強化。売上高に対する利益確保を目指す。

## 2. 事業基盤改革

成長に向けた事業基盤の改革推進。

## 3. ビジネスモデル変革

ビジネスモデル変革の実現を推進。

## 4. 技術開発による差別化

ブランドN-QUALISの推進、電動化・自動化、自動運転システム「N-SEMAC」等の技術開発。

## ③ 対処すべき課題

## ① 鉄道車両事業の対応

- ・アフターコロナにおける車両更新需要の縮小で受注環境が厳しい。
- ・新幹線電車、特急型、通勤型など幅広い車種対応で差別化推進。
- ・安全・品質・保守の進化とコスト低減に努める。

## ② 輸送用機器の市場対応

- ・タンクローリやキャリヤで省人化や自動運転対応が必須。
- ・自動運転システム「N-SEMAC」を発表し新技術導入を進行中。
- ・設計標準化によるコスト低減で新規顧客開拓に努める。

## ③ 財務基盤の強化

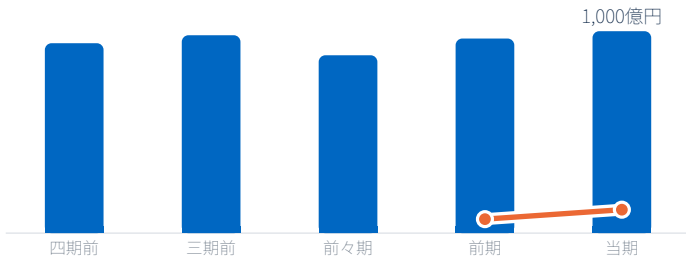
- ・過去の米国案件損失への対応として親会社より借入金350億円。
- ・2021年度より長期借入金返済開始、豊川製作所を2023年3月に買い戻し。
- ・借入金縮減と経営改善の継続で財務基盤強化に注力。

## 面接で使えるポイント

- ・日本車輛は「インフラストラクチャー創造企業」として社会基盤に貢献する方針で…
- ・中期経営計画「日車変革2030」で売上高経常利益率5%確保を目指し、技術開発と経営体力強化を推進中。
- ・新幹線電車から建設機械まで幅広い製品対応で、電動化・自動化による市場ニーズ対応が競争力の源。

証券コード 7102

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
1,000億円営業利益率  
11.6%財務健康度  
52点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 54.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
703万円

輸送用機器内 34位/82社

平均年齢  
40.3歳

輸送用機器内 75位/83社

平均勤続  
16.1年

輸送用機器内 53位/83社

女性管理職  
0.3%

輸送用機器内 70位/72社

男性育休  
82.4%

輸送用機器内 25位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 日本車輛製造(株)【7102】：決算情報

